



菊田清貴さん
三和地区地域おこし協力隊。これからの季節のお出掛けスポットは、芝山自然公園がお薦めだと話す菊田さんは、今年で3年目を迎える。

リレートーク 276

地域振興への「思い」を形にしてい

Q 地域おこし協力隊として活動しようと考えたきっかけは何ですか。
東日本震災は、私のこれまでの人生の中で大きな出来事となりました。震災後は、被災地の復興の一助になればと思い、頻りに福島・宮城・岩手を訪れました。その際、私は福島に大きな魅力を感じ、福島の役に立ちたい、移住して地域に寄り添った仕事をしたいと考え、地域おこし協力隊に応募しました。
Q 活動内容を教えてください。
フェイスブックやホームページ「みわわ」を活用した情報発信を積極的に行っています。見た人が三和に来たくなるような写真を使い、地域の魅力を最大限引き出せるよう工夫しています。アクセス数は前年の二倍に増え、他県に住む三和町出身

の方からのメッセージも増えました。また、昨年は初めて三和町フォトコンテストを開催しました。三和の魅力発信や誘客促進を図るほか、地元野菜を入賞賞品に採用し、地元農業の振興を図るなどの効果を期待した企画でした。集まった百三十六もの写真には、四季折々の風景や三和で暮らす人たちの生き生きとした姿が写し出され、魅力あふれる三和を再確認することができました。
現在は伝統野菜「むすめきたか」という小豆を使った「まんじゅうプロジェクト」を進めています。
Q まんじゅうプロジェクトとは何ですか。
むすめきたかを使用して三和まんじゅうを作り、遠野・田人と同様に中山間地域を盛り上げたいという思

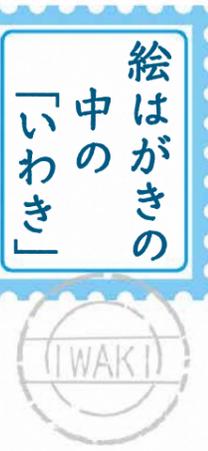


三和ふれあい館で開催しているフォトコンテスト展示会で来館者に解説する菊田さん



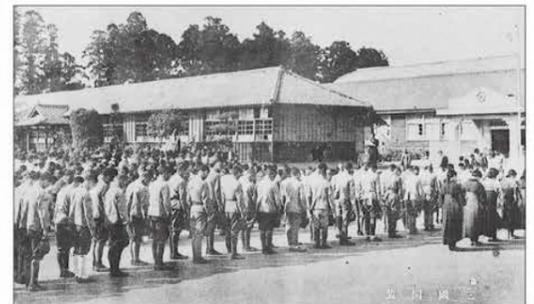
農家レストラン「ぶろばんす亭」で地元の皆さんと三和まんじゅうを作成

いから立ち上げました。地元の皆さんや遠野の菓子店などの協力の下、試行錯誤を繰り返して、今年の三月には三和の卒業生に完成した三和まんじゅうを贈ることができました。
Q 今後の抱負を教えてください。
むすめきたかは早煮えで「嫁いだ娘が突然帰省してもすぐに振る舞える」という温かな親心が由来と知り、このすてきな地元伝統野菜の六次産業化を、まんじゅうプロジェクトで進めていきたいと考えています。また、フォトコンテストの第二回開催が決定しているので、前回は超える応募が来るようPRしていきたいです。私は常に「思い」を大切に活動してきました。今後も福島の役に立ちたいという思いを胸に、地域に根付いた活動を続けていきたいです。



多種多様な発行元（最盛期②）

当初、連絡の手段として使用された絵はがきは次第に、名所・旧跡を紹介する鑑賞としての機能も備えるようになり、大正から昭和時代中期にかけては、企業の紹介や事件・事故、町の紹介など、多岐にわたる分野に広がっていききました。



錦町尋常高等小学校で「日独伊三国同盟」の締結の報告が行われた様子を伝える絵はがき【昭和15年（1940）9月 錦町銃後奉仕会発行】

また、絵はがきの発行元は平町だけでなく、小名浜町や植田町、四倉町、

明治時代に誕生した絵はがきは、新聞と並んで、重要な情報伝達媒体として使用されてきました。絵はがきに残る当時の風景などを通して、いわきの歴史や文化をひもときます。

久之浜町、江名町、豊間町、好間村など、いわき地方の主要地域で生まれた商店や写真館が地元を題材にした絵はがきを発行したほか、行政機関や報道機関、神社・寺・教会、金融機関、消防組、青年会、学校校友会、商店などでも発行するようになり、百花繚乱の様相を呈してきます。

平潟の鈴木商店は茨城県にありながら、隣接の勿来関、勿来海岸を題材に幾種類もの絵はがきを発行しています。平潟と勿来が同じ絵はがき集の中に収められており、かつては、いわき地方南部と茨城県北部が県境を越え、現在よりも密接な関係があったことが、地域情報としての絵はがきからうかがうことができます。

さらに、昭和十年代の戦争期になると、国の戦争一辺倒の政策の中で、絵はがきもこれらの機運を高める手段として、その役割を果たしていました。次回からは、五回にわたり、絵はがきの種類について紹介していきます。

（いわき地域学會 小宅幸一）

連載シリーズ

こんにちは市長室から 56



令和2年「いわきの夏」

いわき市長 清水敏男

今夏は本来、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、日本中が活気を帯びるところでしたが、新型コロナの影響により、来年に延期となってしまいました。市内でも毎年恒例の海水浴場の開設を中止としたほか、いわきおどりやいわき花火大会、いわき七夕まつり、いわき回転やぐら盆踊り大会等、夏を彩る各地区のまつりなどが中止を余儀なくされ、大変残念で仕方ありません。

そのような中、明るい話題としては、昨年、勿来の関公園から三崎公園まで開通したサイクリングルート「いわき七浜海道」において、さらに区間を延長し、今月9日には三崎公園から新舞子ビーチまでの区間の完成式を行います。市内には既に6カ所のサイクルステーションを整備していますので、ぜひ、多くの市民の皆さんにサイクリングを楽しんでいただき、リフレッシュしてほしいですね。

また、今月10日から開催される2020年甲子園高校野球交流試合に磐城高校野球部が出場します。新型コロナの影響で春のセンバツが中止となり、紆余曲折を経ての代替試合となりますが、選手の皆さんには甲子園での試合を堪能し、勝利を収め、3年生には有終の美を飾ってほしいと切に願います。